

勝山に子ども食堂



子ども食堂が開設される「あぐりの家」勝山市立川町1丁目

冬休み限定 1食100円

子どもたちの「孤食」を防ぎ、格安で楽しく食事をしてもらおうと、勝山市社協などが22日、市内で初めてとなる「子ども食堂」を開設する。市内の子どもを対象に冬休み限定で試行的に実施。利用状況を踏まえ今後、継続できないか検討する。(宮本幸直)

市内で行っている歳末たすけあい募金の配分事業として、市社協が企画した。同市立川町1丁目農家レストランを開いている指定障害福祉サービス事業所「あぐりの家」で開く。食堂の名称は「子どもリビング『あぐり』」。子どもたちが一人になり

やすい冬休み中の平日、1月8日まで計7回開く。正午～午後2時。料金は1食100円。食事だけでなく「学習支援なども行えば」「市社協」としている。子どもの家庭の事情など利用条件は今回設けない。

あぐりの家では場所と食事の提供を行うほか、一部の施設利用者が配膳などにも携わり、社会参画にも関わりたい考え。食材は施設が育てている野菜のほか、市内の雪室に貯蔵され普段利用しているコメ、ジャガイモなどを使用できないか検討する。メニューは今後詰める。

市社協では「子どもたちの孤食などを防ぎたい。利用者がどれほどいるか見極める必要があるが今後も継続できれば」と話す。あぐりの家の長谷川浩司管理者は「以前から何らかの形で地域に貢献できたらと考えていた。大勢の子どもたちが集って楽しんでほしい」と期待している。

問い合わせは市社協 ☎0779(88)1177。